

葉山町ごみ処理基本計画（案）に対する意見

パブリックコメント集約方法

- 1、賛成・反対の住民の各代表が議会等に於いて、意見を述べ判断されるべきものではないですか。
- 2、パブリックコメントを集約するのは行政のどの部門ですか、環境課ですか。町長の指示命令でしか動かない環境課が実施して住民の声を正確に把握し公平な判断が出来る筈がない。

＊ パブリックコメントを行政が実施したと言う形だけをとるのか。

3、ゴミ出し22分別

町長がゴリ押し、して推進しようとするゴミ0計画は

- 1) 住民にのみ、その責任と義務を押し付ける、正に悪政、圧政である。
これでは、ゴミ0計画、削減計画が成功しない場合の責任は住民となるのか。
- 2) 資源ゴミは、現在のステーション数を1/2～1/3に減らすとのことであるが
老齢又は孤独老人、更に障害を抱える老人に対する対応はできているのか、その
対象人数はどの位になり、費用はどの位になるのか。
- 3) 鎌倉・逗子市に較べ分類数が多すぎる。（必要があれば行政が行うべき）

4、広報はやま 5月号

ゴミ半減記事は言語道断である。

行政が指定する半減袋で処理できない場合有料と記されている、議会無視も甚だしい。

町長は平成22年6月11日の議会に於いて待寺議員の質問追及に対し、ゴミ半減施策に対する、私の思い記載したと答弁しているが、地方自治法は認めていない。

正に逸脱越権行為である。

5、焼却窯の能力低下と住民の健康阻害

毎年多大の費用を掛けて修理し焼却を続けるしか方法はないのか。

- 地方自治法は、「地方公共団体はその事務を処理するに当っては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」
尚（地方公共団体は常にその組織及び運営合理化に努めると共に、他の地方公共団体協力を求めてその規模の適正化図らなければならない）と条文化されている。

尚修理に修理を重ね能率の悪い焼却窯から、日常的に噴出される灰色や白濁の噴煙に近隣に居住する住民から、平成22年3月4日健康阻害の疑いがあるとして、ゴミ焼却炉のダイオキシン等測定に関する陳情書が、葉山町議会議長 鈴木道子殿に提出し、受理されたが、平成22年6月14日に、教育民生常任委員会で審議されたが、継続審議となり9月に結論となっているが遅すぎる。今後の成り行きを見て、法的手段も含め対応せざるを得ない。

6、リサイクル法と循環型社会推進法

包装容器リサイクル法

家電リサイクル法

建設資材リサイクル法

2000年循環型社会形成推進基本法 3R（リデュース・リユース・リサイクル）再資源化する。 10年経過

プラスチック（容器包装・汚れた物・容器包装以外） 3分類

平成22年6月20日提出

×××××××××